

平成21年度予算

平成21年3月議会に於きまして、左記のように予算が成立しました。

一般会計

240億4400万円

特別会計

1,379億0410万円

企業会計

112億2820万円

まず一般会計ですが、こちらは財政出動型になっています。

商工業振興として、経済・雇用関連予算が前年度より増額となります。

建築関連では、国道247建設に伴う消防庁舎移転建設を行います。小中学校耐震化を前倒しで行います。また、20年度3月補正予算に組み入れましたが、形原中学校の校舎改築も行います。

土木関連では、JR塩津駅周辺整備事業に予算がつきました。中部区画整理事業予算が増額されました。西浦町の下水道事業も進みます。

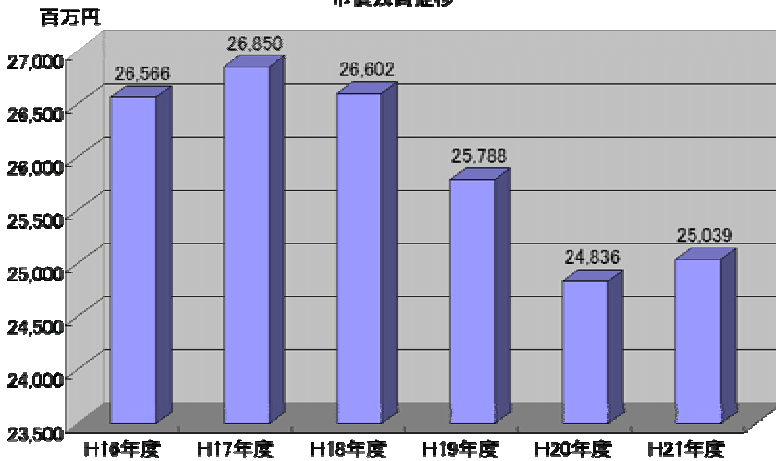


平成22年度中に移転する消防庁舎

ただ残念なことに、一般会計の借金(市債残高)が2億円程度増えることとなります(下グラフ参照)。

この3年間、借金を減らす努力をしてまいりましたが、今の経済状況ではやむをえないことと、どうぞご理解を賜りますようお願い致します。なお、本市の総公債費残高は509億円とされており、しかしながら、公会計制度が取り入れられれば、隠れ借金が表面化することとなり、その総額は580億円程度と予測されます。

市債残高推移



次に特別会計ですが、ほとんど競艇事業で占めています。予算額は1,94億5900万円です。大きなレースがないため、収益は半減し20億円程度になるでしょう。それにもかかわらず、33億円もの繰り出しが予定されています。これには競艇の預金(財政調整基金)を取り崩し、賄うこととなります。

企業会計のうち、市民病院事業についてです。常勤ドクターは4月から41人となりますが、まだまだ充足しておりません。看護師も退職者が増えたため270名程度となり、予定数に達していません。

そのため休床中の病棟を再開させ、入院患者の受け入れ増加を目指そうにも、ままなりません。

国による社会保障制度の抜本改革を求めるものです。

収益改善が期待できない中、当初予算において、競艇事業から16億円の繰り入れを予定しています。それにもかかわらず、5億8千万円以上の赤字予算になっています。

昨年3月議会の予算委員会、私は病院の予算立ての不備を指摘しました。結局、私の試算どおり25億円程度の繰り入れが必要になりました。

また12月議会では、2年後には全ての予算立てができなくなるほど財政が緊迫した状況であることを明らかにしました。

それでも本市の姿勢は、このまま

行けるところまで行くということ
で一貫しています。国には散々約束
を反故にされ、上層部の誰もが苦い
思いをしているにも拘わらず『親方
日の丸』ということでも乗り切れると
いうことでしょうか。

政権交代に期待しているという
ことでしたら、話は別です。

三検討委員会報告

平成19年10月における市長
選挙において、金原市長が打ち出し
たマニフェストにあった、三つの検
討委員会の報告が出揃いました。

なお、私はどの委員会にも所属で
きませんでした。

1、企業用地確保検討委員会

本委員会は、本市には企業用地と
して提供できる場所がないという
ことで設置されました。

平成19年11月28日に第1
回委員会が行われました。当初、5
5箇所の候補地が出されました。区
域のまとめや法規制を考慮した絞

込みで、第3回委員会では12箇所
になりました。その後、立地条件、
坪単価、開発費用などを考慮して5
箇所にまで持ってきました。そして、
第5回委員会で現地視察をし、その
5箇所を候補地に決定しました。

平成20年10月29日、市長へ
報告しました。

候補地につきましては、地権者等
への承諾を得ているものではなく、
あくまでも概ねの予定地というこ
とですので、ご了承ください。

従いまして、企業進出の打診があ
った場合、あるいは開発計画が出た
場合には、その時点から正式な説明
をさせていただき、皆さまの同意を
得られた後、事業に取り掛かること
になります。なお、地域の総代さま
はじめ、開発委員の皆さまに対する
概要説明につきましては、蒲郡市都
市計画課が行っております。

概ねの候補地は左記のとおり。

竹谷町大久古地区	8.2ha
柏原町堀切地区	5.4ha
神ノ郷町国京地区	6.1ha
水竹、平田町地区	6.8ha

柏原町坂野地区 6.9ha
なお、位置図につきましては、私
のホームページをご覧ください。

2、生命の海科学館検討委員会

当初、平成19年12月18日に
準備会を立ち上げました。その席で
科学館の概要、決算状況、利用者推
移などが報告されました。その後、
第2回の準備会で要綱が策定され、
平成20年2月27日、市長に報告
されました。

これを受け、市長は生命の海科学
館見直し検討委員会を設置し、第1
回委員会が5月23日に開催され
ました。

その後、5回の検討委員会が開催
され、12月24日に市長に報告さ
れました。

検討結果は『存続』とされ、合わ
せて事業内容や運営体制の改善な
どが求められました。

ただし、概ねこれまでの事業が追
認される形になり、運営改善につい
ても当局に任されることとなって
います(ホームページ参照)。

なお、平成二十一年度予算は2,
768万円、昨年度より300万
円減額となりました。

私が議会で提案した、化石資料や
電磁的図書を合わせた総合的な図
書館『総合ライブラリ』については

全く検討されず、残念でなりません。

立地条件でいえば、科学館は蒲郡
市の一等地にあります。人の流れを

一番生み出しやすいところにある
わけですので、有効活用を目指さな
ければなりません。

3、東港活用検討委員会

本委員会は、蒲郡港東に位置する
約82,000平方メートルもの広
大な埋立地の有効利用を計る目的
として設置されました。

東港埋め立ては、昭和63年に策
定された『三河港ポートルネッサ
ン21計画』をもとに着手されまし
た。

その後、平成6年にアメリカカズカ
ップ開催を視野に入れた『蒲郡イン
ナーハーバー計画』が『ポート...』
の改訂版的に策定されました(ホー

ムページ参照)。

しかし、アメリカズカップ開催は不可能となり、また経済状況が悪化する中、東港は特段の利用がされることなく塩漬け状態になってしまいました。

このような経緯を経て、第1回委員会が平成19年12月19日に開催されました。

その後、非公開の会合を含め、全10回の委員会が開催され、平成20年3月9日、市長に報告書が提出

されました。

報告の内容は東港を 多目的広場エリア、 公募エリア、 駐車場エリアの三つに区分し、当面は暫定利用とするものです。また、10年以内に正式計画を策定することという提言が盛り込まれたものです。

いくら財政的な理由があるにしても、見える目標を出してほしかったというのが私の気持ちです。一部の委員さんも、このような考えをお持ちになっていることを付け加えさせていただきます。

私が議会で唱えている要旨は以下のとおりです。

いずれ広域行政、地方政治が始まることを前提とすること。

広域の基礎自治体内で、他地区に訴えるもの、蒲郡に求められる明確な役割、責務を見出すこと。

観光に関しては、三河湾内においては突出した、有利な条件を有した地区であることを、自己認識すること。

他地区と連続的に結びつける条件整備すること。

東港、科学館は全体の中の一要素として関連付け、検討すること。

基礎自治体として投資理由を明確にする素地を作ること。

なお、東港関連予算は250万円しかついておらず、いくら暫定利用といっても、補正予算を付けることになるでしょう。

議会報告

平成20年度3月議会

一般質問

1、名鉄西尾・蒲郡線について

(1) 対策協議会の様子と今後について

(2) 廃線となった三河線と沿線市町のその後の対応について

(3) 鉄道高架事業名鉄分の建設費について

(4) 乗降客と収益の推移について

(5) 西尾・蒲郡線沿線市町の様子と対応について

(6) 本市の対応について
2、第4次蒲郡市総合計画について
(1) 計画の進捗状況について

(2) 策定方法と期間について
(3) 計画の具現性について

ア、社会変化に対応できる期間について

イ、本市のマニフェストについて

委員会質疑

3月議会においては、総務委員会、経済委員会、文教委員会、予算委員会でも質疑を行いました。

なお、本年度1年間を通じ、各委員会で質疑を行いました。9月議会では決算委員会でも行いました。

蒲郡市職員の勤務時間短縮条例

本議案は勤務時間短縮を求めるだけでなく、実質的に給与増額を求めるものでした。未曾有の経済危機の中、市民の皆さまにご賛同頂けないと判断し、反対しました。多くの職員さんも疑問に思っていることを付け加えさせていただきます。



蒲郡東港